



電線類の地中化について

公明党 福地 茂



問 近年、電線や電柱についてさまざまな問題が指摘されています。例えば、①電線が多くて景観が悪い②電柱で道幅が狭くなり、歩行者は歩きにくく、自動車が来たときにも危険③地震や台風などの災害で電柱が倒れたり、電線が垂れ下がつたりする危険もある——などが挙げられます。電線類の地中化は、こうした問題の解決に役立つといわれています。特に、地震の多い日本では防災面からも地中化は重要です。そこで、海老名市において電線類の地中化が実施されている所は何所あるのか伺います。また、施工距離にすれば何メートルほどの距離になるのでしょうか。

次に、地中化する場合のハードルはどのようなものがあるのかお尋ねします。

答 (建設部長) : 電線類の地中化の箇所は3カ所で、道路延長は約3400mです。課題としては、事業用地の確保や電力、通信事業者との調整が必要となり、多くの時間と費用を要することになります。

問 阪神・淡路大震災で、電柱の倒壊による問題が注目されました。倒れた電柱が家屋を壊したり、緊急車両の進路を阻んだりして、救急活動が遅れたいことが指摘されました。そこで、災害時の緊急輸送道路の確保という観点から、緊急輸送道路の電線類の地中化を計画してはいかがですか。

答 (建設部長) : 緊急輸送道路は東名高速道路や国道246号、県道5路線が指定されています。課題は多くありますが、本市の地域特性に合った電線類の地中化に向けた計画策定が必要だと考えます。

その他の質問

- ・海老名市のPRについて



プログラミング教育の進め方について

創志会 志野 誠也

問 来年度から試行的にプログラミング教育を実施していくと聞いていますが、どのように実施するのか伺います。

答 (教育部参事) : 教科や総合的な学習の中での実施が指針が出ています。本市でも今年度検討委員会を立ち上げ、海老名市部活動方針が定められました。週1日の休養日や配慮事項などについて、検討委員会においてどのような議論があつて決定されたのか、お尋ねいたします。

問 小学校では全校へのタブレット端末導入と同時にパソコン教室が廃止されるということですが、見解を伺います。

答 (教育部参事) : これまでパソコン教室の中だけでしか使用できなかつたものが、タブレット導入によって通常の教室などでも使えるため、プログラミング教育だけでなく毎日の授業にも使えると考えております。

問 プログラミング教育の授業実施にあたり、外部人材を活用することの方が良いと考えますか。

答 (教育部参事) : 教育課程内の授業である以上、教員が行うことになります。場合によっては外部人材の活用について検討してまいりたいと思います。

問 教育課程内だけでは時間も十分ではないと思いますが、興味を持った子どもたちには教育課程外での充実が現実的ではないかと考えますが見解を伺います。

答 (教育部参事) : さらに学びたい子どもたちには必要に応じて学ぶ場を設定していくたいと考えています。

問 近隣に工学系の大学もあることから、市として大学と協定を結ぶなど積極的に大学の活用を検討してはいかがでしょうか。

答 (教育長) : 大学連携についても積極的に進めたいと思います。

その他の質問

- ・ホームページリニューアル後の取り組みについて
- ・引きこもりへの支援のあり方について



部活動について

創志会 永井 浩介

問 部活動について、そのあり方を含めた議論が進んでおり、スポーツ庁からも週2日以上の休養日を設けるといった指針が出ています。本市でも今年度検討委員会を立ち上げ、海老名市部活動方針が定められました。週1日の休養日や配慮事項などについて、検討委員会においてどのような議論があつて決定されたのか、お尋ねいたします。

答 (教育長) : 休養日は週2日という国ガイドラインが以前から出ていますが、何の実効性もなく、ほとんどの部活動が変わりなく続けられてきました。週2日ぐらいは必要という医師の委員の意見もある中で、確実に実行できるところはどこなのかという視点で、議論しました。

問 子どもたちの勉強に支障がない形が一番ですし、医学的にも休養日は週2日以上にすべきという意見もあります。休みなしの背景には勝利至上主義がありますが、指導者は与えられた環境の中で工夫すればいいと思います。今後も検証をしながら、週2日の休養日も視野に入れてほしいと思いますが、見解を伺います。

答 (教育長) : そのように進めていきたいと思います。まず、部活動がより良くなるよう指導者と十分に話し合いながら、指導者の意識改革を進めたいたと思っています。

問 部活動にそのスポーツ種目がないので、クラブチームに在籍している子もいますが、夢を追いかけるという意味では部活動と同じです。クラブチームにどのような支援ができるのか、見解を伺います。

答 (教育長) : 放課後の活動という意味では部活動と同じです。では英語塾はどうかなど幾つか線引きが必要ですが放課後の活動支援もあつてしかりだと考えています。

その他の質問

- ・子供の運動能力の低下について
- ・放課後の学習支援について
- ・市の新たな魅力の創造について